

Efficient Engineering is when a PLAN becomes EPLAN.

EPLAN Cloud ソリューション

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT



Agenda

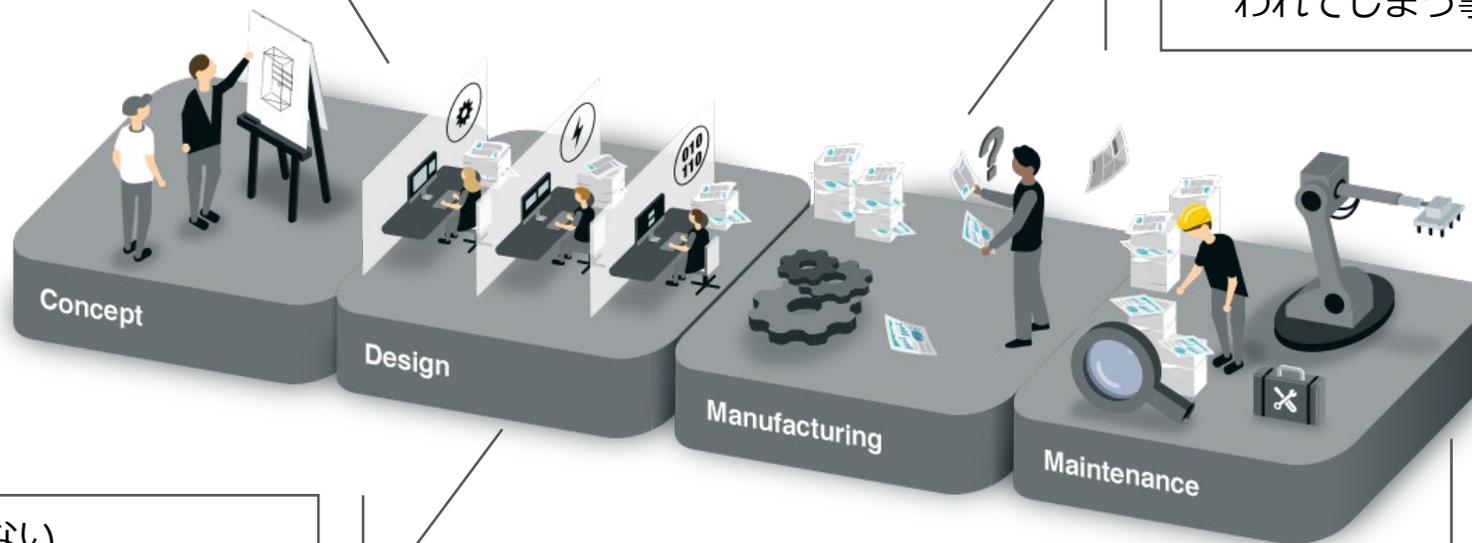
- 1 EPLAN Cloudとは
- 2 EPLAN Data Portal
- 3 EPLAN eSTOCK
- 4 EPLAN eMANAGE
- 5 EPLAN eVIEW
- 6 EPLAN eLearning
- 7 Q&A

Agenda

1	EPLAN Cloudとは
2	EPLAN Data Portal
3	EPLAN eSTOCK
4	EPLAN eMANAGE
5	EPLAN eVIEW
6	EPLAN eLearning
7	Q&A

現在のエンジニアリング

- 通常運用が紙ベース
- たくさんのマニュアル入力
- 企画に関する詳細が抜けている



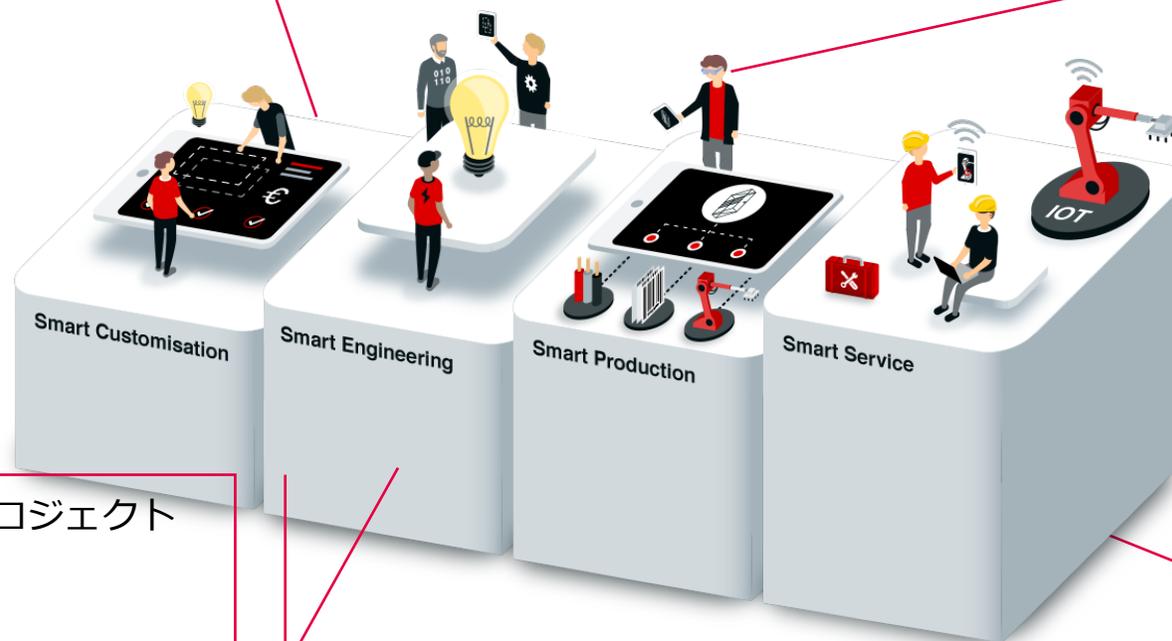
- 構想段階との関連性がない
- コラボレーションが難しい
- ハードウェア、データ容量、データ管理等色々手間がかかる

- 製造側に「丸投げ」されたプロジェクト
- 技術変更依頼はその都度手動
- 古いバージョンのプロジェクトが現場で使われてしまう事が良くある

- 紙図のアップデート、紛失、破損管理メンテ必要
- 変更事項の伝達が悪い
- エンジニアリング部門との連携ができていない

これからのエンジニアリング

- 通常運用がクラウドベース
- 迅速かつ正確な企画
- エンジニアリングで再利用可能なデータ



- インテリジェンスな製造
- 少ないスキルでOK
- 常に最新情報が提供される
- リアルタイムの生産状況報告

- コンセプトから見える化されたプロジェクト
- 最小限のハードウェア要求
- ソフトウェアは常に最新
- どこからでもアクセス可能
- コラボレーションが簡単
- データは安全かつ常にバックアップされ、管理が容易

- 最新のプロジェクトデータを現場で入手可能
- 変更事項は即座に伝達される
- サービスサポート

EPLAN Cloud

なぜクラウドソリューション？

EPLAN Cloudは、Microsoft Azureをホストとするパブリッククラウド環境をベースにしています。パブリッククラウド環境には多くの利点があります。

■ 常に利用可能

デバイスや場所に依存しないため、ソフトウェアやデータは常にオンで、いつでもどこでもブラウザ対応デバイスから利用可能です。

■ セキュリティ

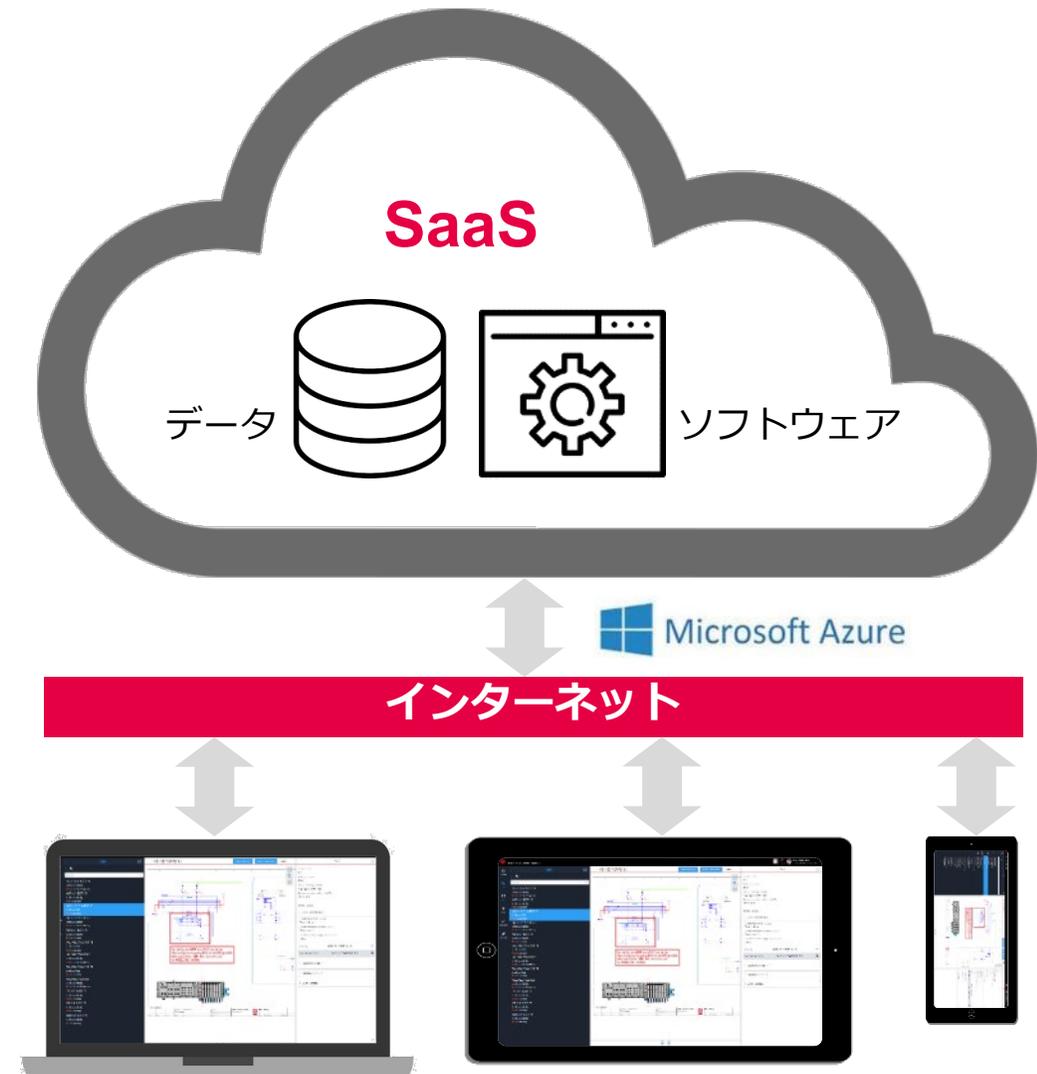
データを安全に保つため、専門家チームとツールを常時使用できます。定期的なテストを行うことで、お客様の知的財産の安全性を確保します。

■ 明確なアクセス管理

クラウドにアップロードされたEPLANデータは、ユーザーのアクセス権限管理が可能です。

■ 時間の節約

社内だけでなく協力会社とのプロジェクト共有が容易になります。



SaaS = software as a service

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT

EPLAN Cloud

EPLANプラットフォームで設計したプロジェクトをクラウドでつなげる



EPLAN Data Portal

部品データポータルサイト



EPLAN eBUILD

クリックで回路図自動生成



EPLAN eMANAGE

プロジェクトの共有



EPLAN eVIEW

プロジェクト、回路図参照



EPLAN eSTOCK

部品データの共有

*EPLAN Ver.2023以降サブスク契約



EPLAN eLearning

いつでも自学習できます



EPLAN Cloud : <https://www.eplan.com/ja.html>

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT

Agenda

- 1 EPLAN Cloudとは
- 2 EPLAN Data Portal**
- 3 EPLAN eSTOCK
- 4 EPLAN eMANAGE
- 5 EPLAN eVIEW
- 6 EPLAN eLearning
- 7 Q&A

EPLAN Data Portal

部品のポータルサイト



■ 更新情報

2023年2月現在 430社 1,420,160点のデータ掲載中

日本メーカーは2023年2月現在 合計36社 302,880点のデータ掲載中

■ セレクター機能：部品の構成が簡単に

EPLAN Data Portal上で部品メーカーが提供しているセレクターのガイドにそって選択することで、適した部品をすばやく見つけることができます。

日本メーカーでは富士電機機器制御がセレクター機能を公開しています。



[EPLAN Data Portal 富士電機セレクターの紹介：You Tube](#)

EPLAN Data Portal 登録状況 (日本)

データ数 ()内EDS (EPLAN Data Standard)



9,163 (4,178)



156 (116)



1,015 (1,015)



49,402 (43,644)



383 (10)



1,470 (1,470)



371 (225)



144 (144)



8 (8)



44,073 (31,294)



108 (108)



50 (50)



63 (0)



45 (45)



1,535 (1,535)



41,041 (39,298)



1 (1)



121 (121)



2,626 (1,770)



110,045 (110,045)



702 (702)



2,320 (2,320)



53 (53)



8 (8)



21 (0)



1,965 (1,965)



27 (27)



978 (978)



233 (233)



32,703 (32,703)



96 (96)



38 (38)



8 (8)



165 (165)



1,433 (1,208)



258 (156)

2023年2月現在 合計36社 合計部品点数302,880 (274,772) 91%

EPLAN Data Portal

セレクトター機能：機能、製品シリーズから部品を選択することができる

#	Type number	Rated current	Reversing	AC/DC	Coil voltage
1	SK12QA-201	12A	non-reversing	AC	200V
2	SK12QA-210	12A	non-reversing	AC	200V
3	SK12QA-401	12A	non-reversing	AC	400V
4	SK12QA-410	12A	non-reversing	AC	400V
5	SK12QA-E01	12A	non-reversing	AC	24V
6	SK12QA-E10	12A	non-reversing	AC	24V
7	SK12QA-F01	12A	non-reversing	AC	48V
8	SK12QA-F10	12A	non-reversing	AC	48V
9	SK12QA-K01	12A	non-reversing	AC	120V
10	SK12QA-K10	12A	non-reversing	AC	120V

- 富士電機セレクトターを使うと富士電機のホームページからData Portalへの部品番号のコピペが不要
- 選択した部品をEPLAN 部品データベースに直接インポート可能

Agenda

1	EPLAN Cloudとは
2	EPLAN Data Portal
3	EPLAN eSTOCK
4	EPLAN eMANAGE
5	EPLAN eVIEW
6	EPLAN eLearning
7	Q&A

EPLAN eSTOCK

クラウドで部品データを管理



■ すべてのデータを一元管理

eSTOCKを使えば、社内のプロジェクト関係者全員がWebブラウザを使って、統一された部品データにアクセスすることができます。一貫性のある部品データを持つことができ、社内外のコラボレーションが容易になります。

■ ITインフラの追加設定やSQLサーバーの運用は不要

eSTOCKを使用すると、部品データはEPLAN Cloudで利用できるようになります。クラウド上から、承認されたユーザーが部品データを一元的に編集・管理することができるので、ITインフラの追加設定やSQLサーバーの運用は一切必要ありません。

■ パートナーとの共同作業の時間短縮

協力会社は、必要なすべての部品データに一元的にアクセスできるため、共同作業が容易になります。情報の調整時間やデータの混乱が減少し、迅速かつシームレスなプロジェクトが可能になります。

■ EPLAN Ver.2023以降サブスクリプション契約でご利用頂けます

EPLAN eSTOCK

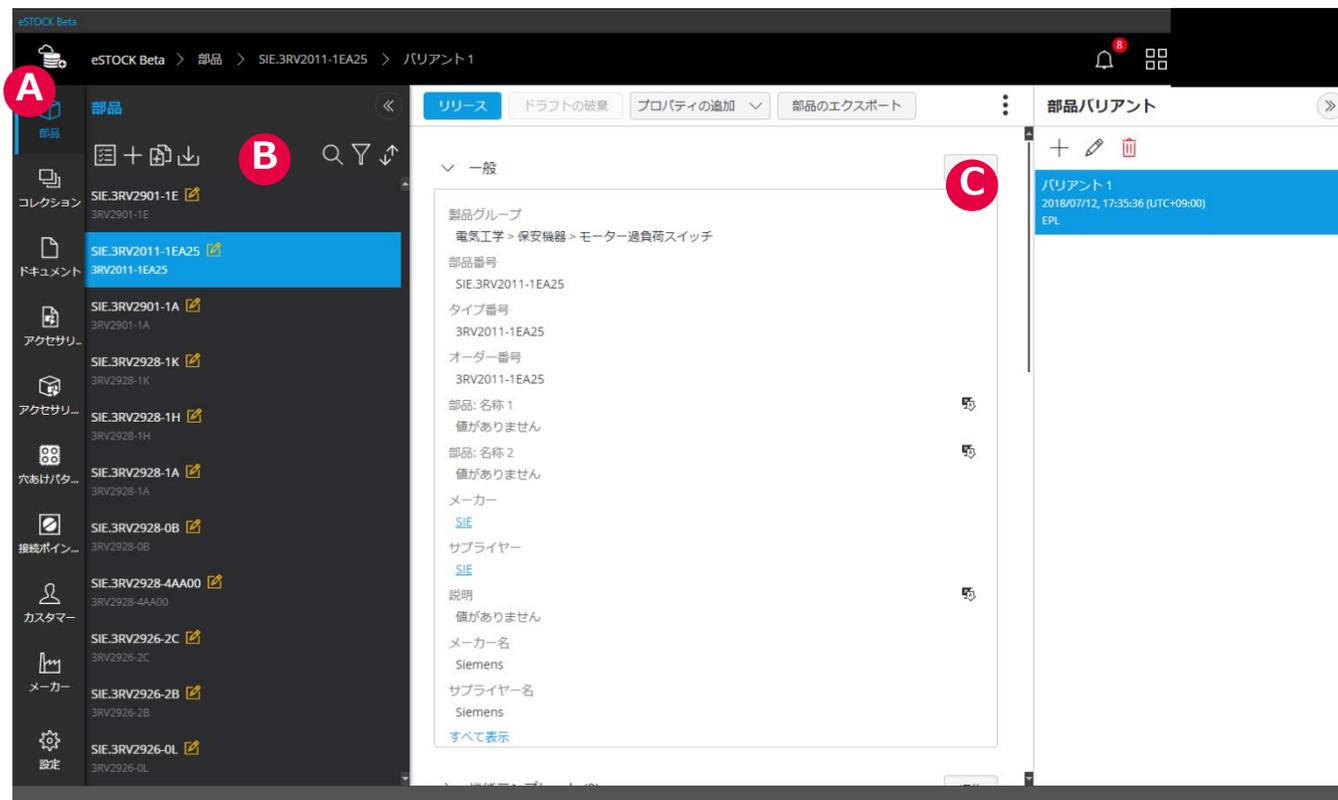
Overview

eSTOCKはクラウドで部品データを管理・共有するソリューション



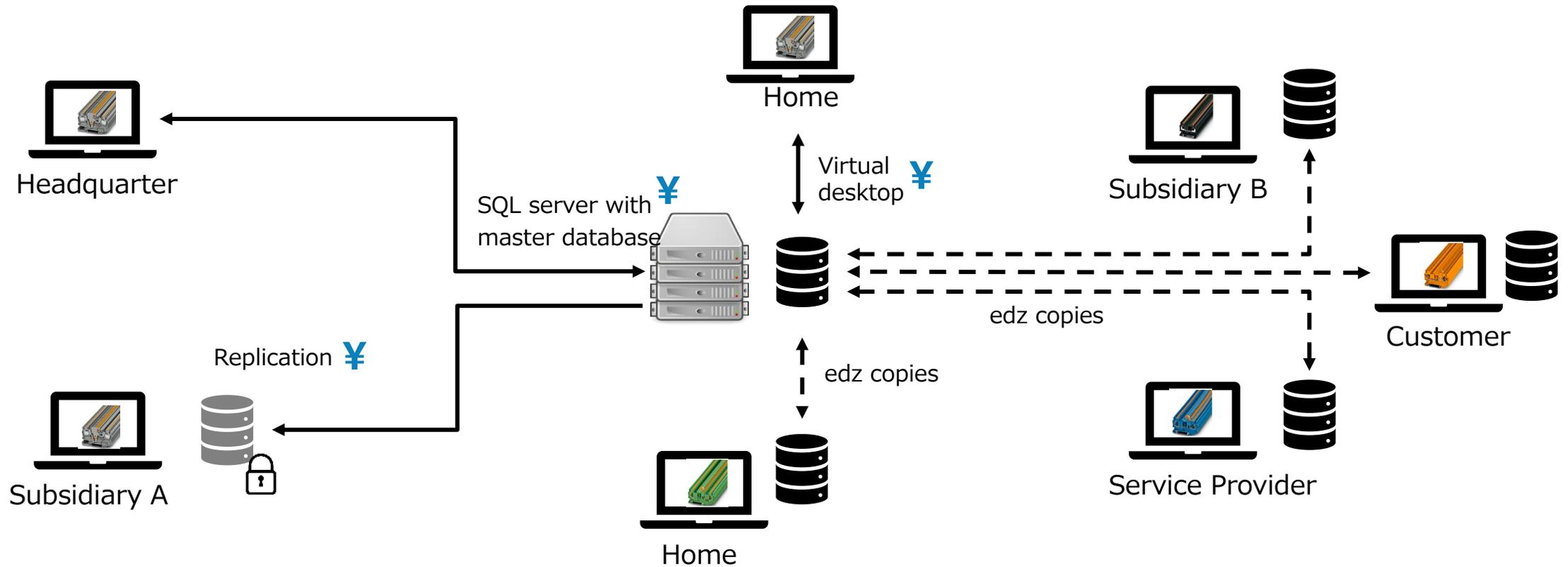
EPLAN部品データをブラウザで確認

- A** ナビゲーション
- B** 選択
- C** 詳細



eSTOCK – クラウドベースの部品管理

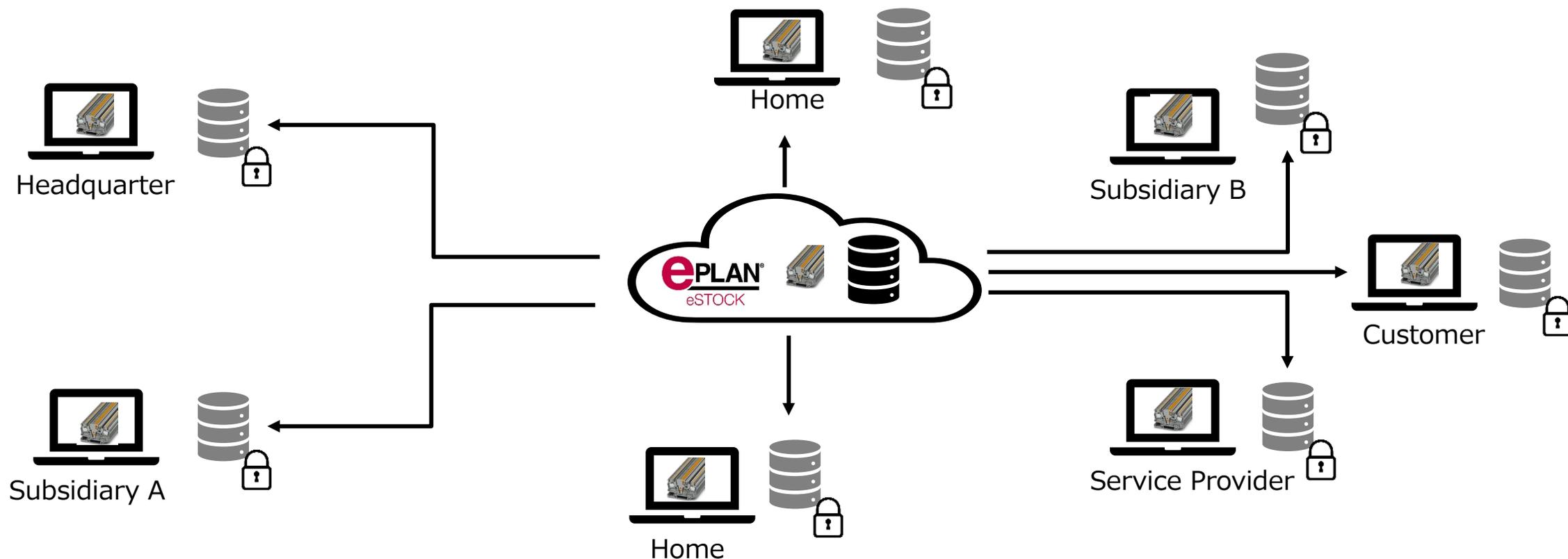
現在の部品データの流れ



! 様々な場所にある部品データ、コストのかかるITインフラ。

eSTOCK – クラウドベースの部品管理

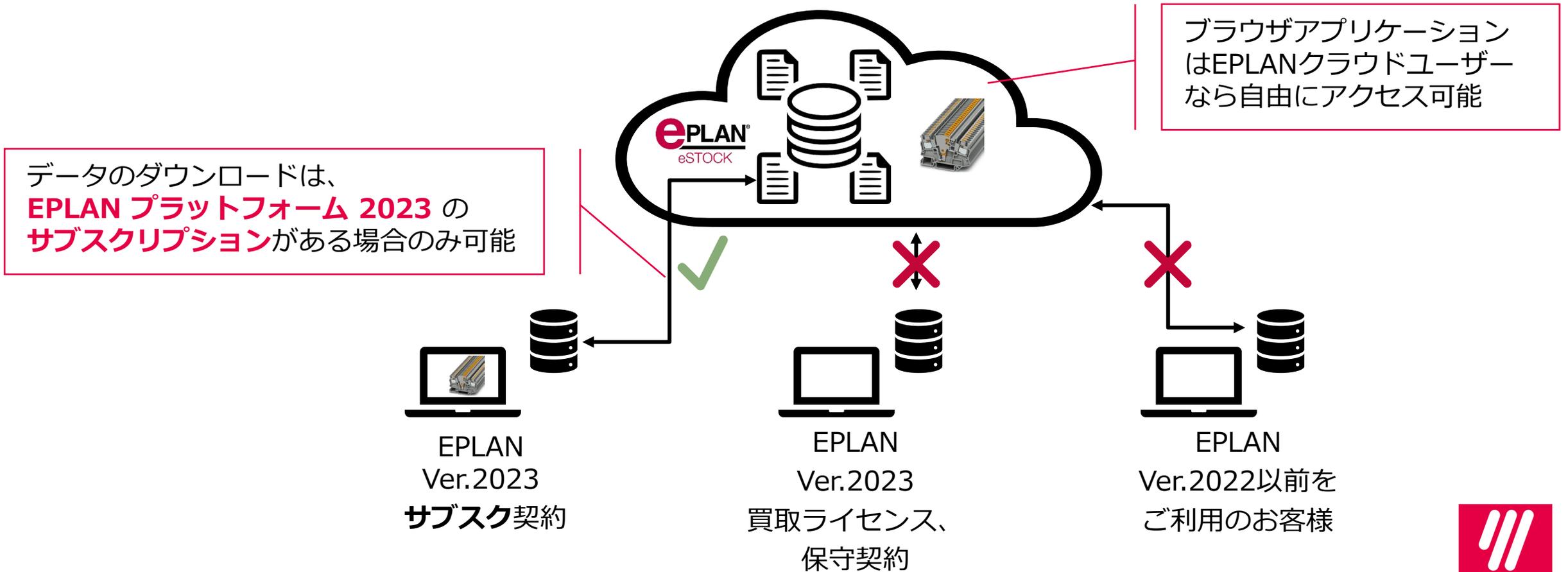
eSTOCKを使った部品データの流れ



! 全ての場所から一貫したデータにアクセス、追加コストをかけないITインフラ。

eSTOCK – クラウドベースの部品管理

利用ライセンス条件

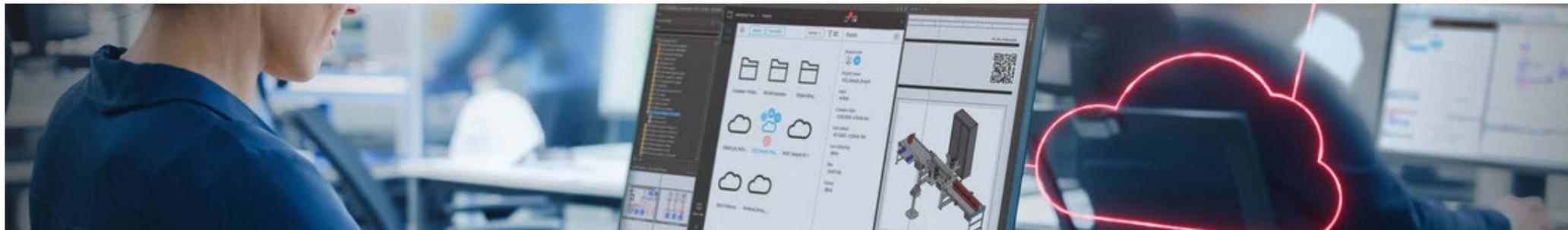


Agenda

1	EPLAN Cloudとは
2	EPLAN Data Portal
3	EPLAN eSTOCK
4	EPLAN eMANAGE
5	EPLAN eVIEW
6	EPLAN eLearning
7	Q&A

EPLAN eMANAGE

プロジェクトのスムーズな共有



■ ユーザーのエンジニアリング環境に統合

EPLAN Electric P8またはEPLAN Pro Panelの「ユーティリティー>EPLAN Cloud」機能を使って、プロジェクトを直接アップロードすることができます。データ共有をするためにファイル転送サービスやファイルを圧縮するなどといった時間が不要なため、作業時間を節約できます。

■ 社内でも、ちがう拠点でも、テレワークでも使える

クラウドサービスなので、EPLANプロジェクトやデータにインターネットがつながる環境であればどこからでもアクセスできます。

■ プロジェクトの標準化をサポート・データを常に最新に維持

最新のファイルがどれか探す手間を省きます。

■ アクセス権の管理機能

データにアクセスできる人を管理できます。

EPLAN eMANAGE

EPLAN eMANAGE使用イメージ

- P8からプロジェクトをアップロード
- 数回クリックするだけ
- プロジェクトを直接インポート



- プロジェクト全体をダウンロードまたは表示
- eVIEWにデータを発行
- マルチユーザーコラボレーション

- 共有する相手を選択
- アクセス権の管理、設定
- P8またはウェブブラウザでアクセス



[日本語字幕]EPLAN eMANAGE Freeの使い方 : You Tube



EPLAN eMANAGE

EPLAN eMANAGEとEPLAN eMANAGE Freeの機能

機能／特長	EPLAN eMANAGE Free	EPLAN eMANAGE
フォルダー構造：作成と管理	✓	✓
データの共有：EPLANプロジェクトのアップロード、保存、ダウンロード（ZW1）	✓	✓
役割の管理：チームメンバーにさまざまな役割を割り当てる	✓	✓
フィルターと検索機能：プロジェクトの内容を簡単かつ迅速に検索	✓	✓
EPLAN eVIEWでの公開：赤ペン・緑ペン機能を使用して、オンラインでプロジェクトレビュー	✓	✓
シームレスな統合：EPLANプラットフォームの現行バージョンでのワークフロー統合	✓	✓
プロジェクトデータの保存：EPLANプロジェクト（ZW1）を、旧バージョン（2.9、2.8、2.7）のデータ形式で保存して提供する*	-	✓
マスターデータの提供：EPLANプラットフォーム上でマスターデータを提供する*	-読み出しのみ可能	✓保存可能
ストレージ容量の追加：1ライセンスにつき10GBを追加	-	✓
PDF、xls、doc、txt等一般ファイルの保存(EPLAN以外)	-読み出しのみ可能	✓

*EPLAN Platform 2022からのスタート

Agenda

1	EPLAN Cloudとは
2	EPLAN Data Portal
3	EPLAN eSTOCK
4	EPLAN eMANAGE
5	EPLAN eVIEW
6	EPLAN eLearning
7	Q&A

EPLAN eVIEW

回路図面の設計プロジェクトのデータや情報の共有



■ 設計プロジェクトに簡単にアクセス

EPLAN eVIEWを使うと、EPLANプラットフォームで作成した設計プロジェクトにタブレットなどのデバイスからアクセス、回路図や3Dを参照できます。

■ スムーズなデータ共有

製造、サービス、メンテナンスに至るまで、プロジェクトに関わるすべての人に、デジタルのスムーズなデータ共有が可能です。

■ 常に最新のドキュメントを閲覧可能

変更要求が発生した場合に自動的に通知され、迅速な対応ができます。常に最新状態のドキュメントにアクセスでき、加えられた変更内容を直接確認することが可能です。

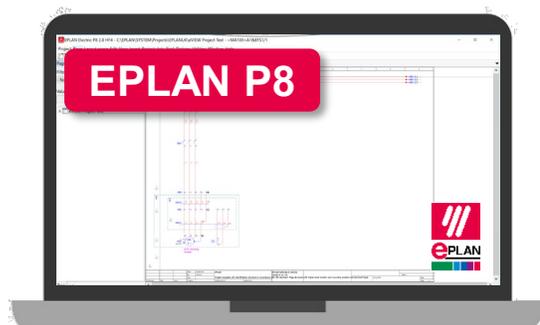
■ 明確なアクセス管理

誰がプロジェクトのデータにアクセスできるか設定管理できます。明確に定義可能なアクセス権により、データのセキュリティは確保されます。

EPLAN eVIEW

EPLAN eVIEW使用イメージ

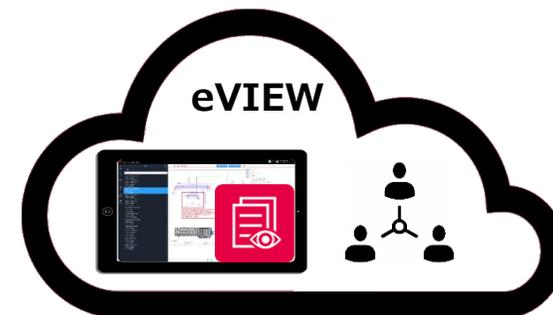
変更要望は
赤ペン機能でオンライン通知可能



- プロジェクトの変更/更新
- 最新版をアップロード
- 赤ペンを確認

アクセス管理
プロジェクトUP

インポート
赤ペン/変更依頼



- プロジェクトの確認
- 赤ペン機能によるクラウド経由の変更要望等連絡、通知
- プロジェクトの確認要求



[タブレットで図面の訂正依頼！常にアップデートされた図面を管理 | You Tube](#)



[\[日本語字幕\]EPLAN eVIEW - 設計データと現場をつなげるソリューション : You Tube](#)

eMANAGE & eVIEW

旧バージョン保存機能(有償版)

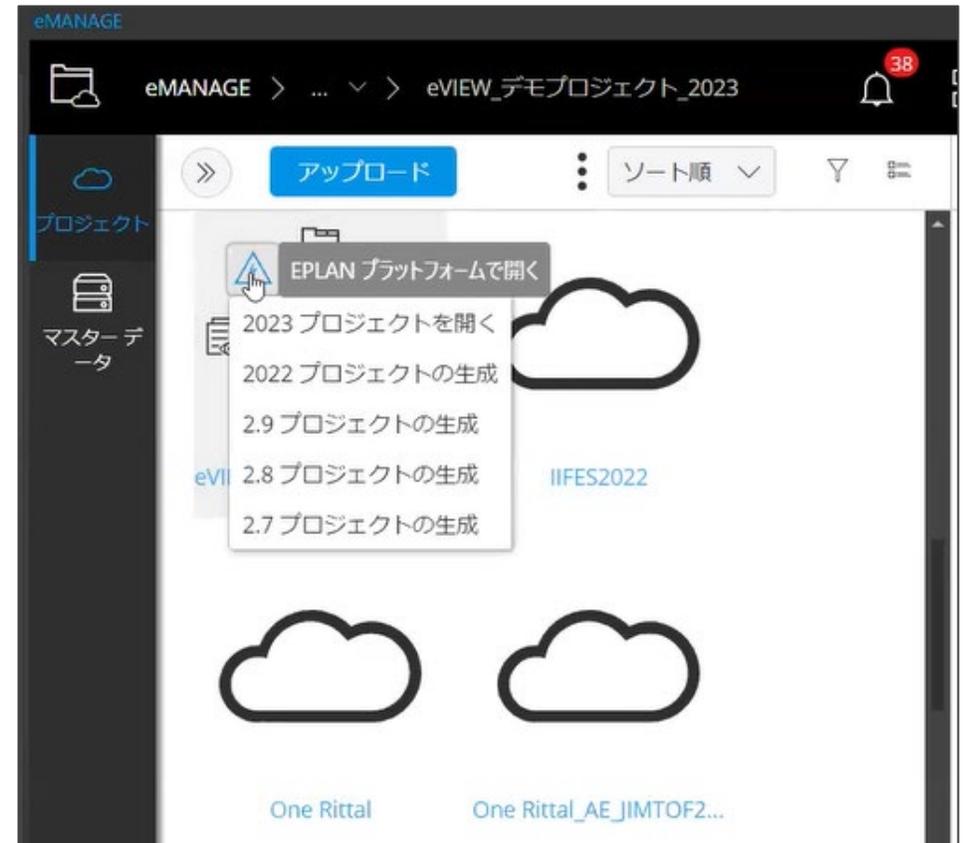
お客様から、古いバージョンでの提出依頼がある場合にご活用いただけます。

例) 普段お使いのEPLANバージョン2023

右図eManage有償版で“2.9プロジェクトの生成”を選択する事で2.9形式で保存可能です。

5バージョン前までの旧型式で保存できます

2.9と2023を両方インストールしなくても大丈夫

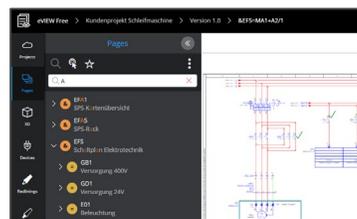
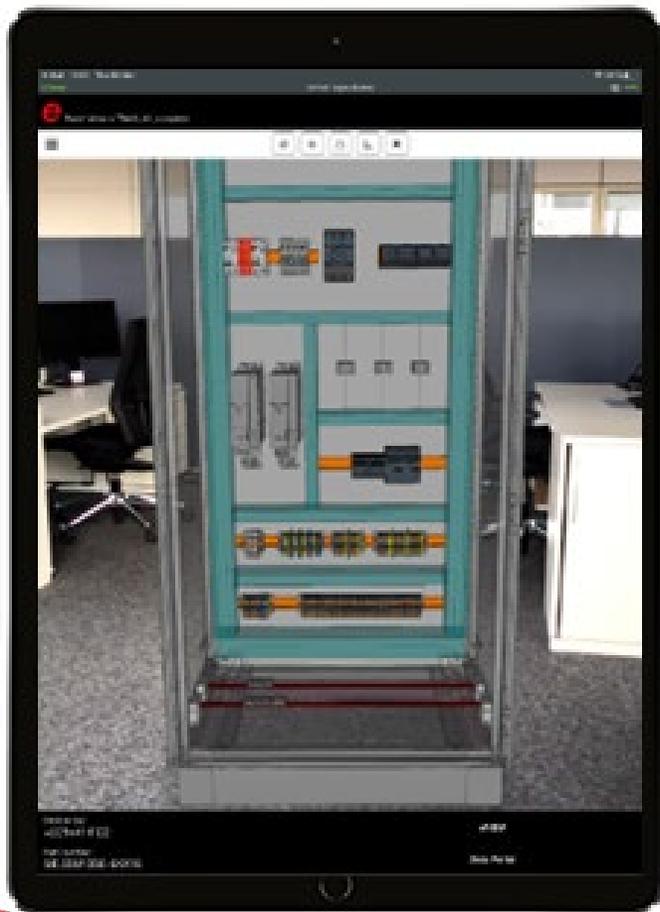


! 古いバージョンでの提出依頼があったときに便利

■参考■ デジタルツインで工事前に3Dバーチャル確認

eVIEW free AR

AR



バーチャルで3DモデルをAR表示

- ✓ 視覚的に理解しやすい
- ✓ 遠隔地からも指示やサポートが可能

サービスチームをサポート

- ✓ 3D画像であらゆる角度から確認
- ✓ 大型の制御盤など、移動が困難な場合でも、移動や回転が容易
- ✓ 回路図とData Portalに直接リンク

お客様とのより良い連携

- ✓ 現場で制御盤を可視化することで、問題を事前に特定することが可能



[日本語字幕]EPLAN eVIEW Free : ドイツで設計・イギリスでARを使いデータを確認 : You Tube

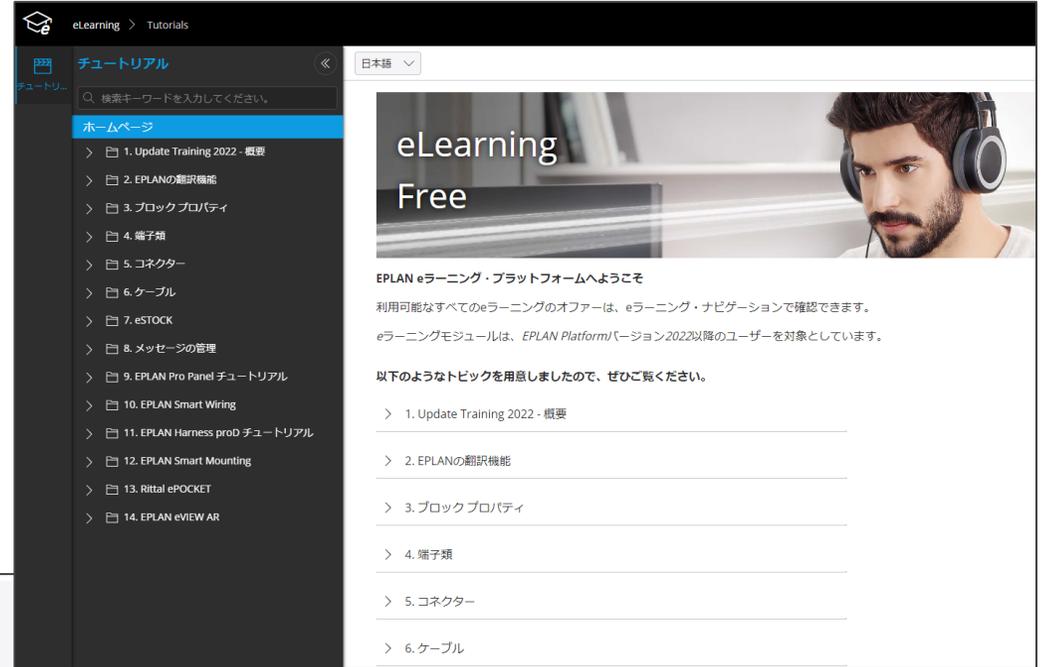
Agenda

1	EPLAN Cloudとは
2	EPLAN Data Portal
3	EPLAN eSTOCK
4	EPLAN eMANAGE
5	EPLAN eVIEW
6	EPLAN eLearning
7	Q&A

eLearning

いつでもEPLANを習得できる

- EPLANソフトウェアに関する実践的な知識をいつでもアップデートできます。
- 新しいトピックは随時更新されます。



EPLAN eLearning
EPLAN の知識を深めましょう。

eLearning
更新トレーニング 2023
今すぐ視聴

eLearning
更新トレーニング 2022
今すぐ視聴

eLearning
無料
今すぐ開始

! EPLAN Cloud : <https://www.eplan.com/ja.html> からアクセスできます

Agenda

1	EPLAN Cloudとは
2	EPLAN Data Portal
3	EPLAN eSTOCK
4	EPLAN eMANAGE
5	EPLAN eVIEW
6	EPLAN eLearning
7	Q&A

Q&A

eSTOCKには誰が繋がれますか？	EPLANクラウド登録者は繋がられます。 eSTOCK部品をEPLANで利用するにはEPLAN2023 サブスク契約が必要です。
eSTOCK上で扱うことができるデータサイズ上限はどの程度ですか？ EPLAN Cloud全体でのサイズになりますか？	会社組織のEPLAN IDでご使用の際は100GB、それ以外の組織のは10GBです。 またeSTOCKはEPLAN Cloudのご契約容量が上限となります。
関連会社以外の人でも可能ですか？	可能です。EPLAN Cloud は、ユーザー管理、権限登録すれば、誰でも可能です。
何千件や何万件の部品データを保存できるという理解で宜しいでしょうか？	100GBまで可能ですが、eSTOCKのデータベース（コレクション）をP8にダウンロード表示に時間かかるため、必要な部品のみを推奨します。
関係者とそれ以外の区別はどうつけていますか？	ユーザー管理のアクセス権（ロール）で管理しています。
ユーザー管理をグループ単位で管理可能でしょうか？ たとえば、〇〇チーム10名を一括で追加する。	グループ単位で、新しい組織を作って、管理が可能です。

Q&A

eManageやeViewについてもアップロードプロジェクト容量は無制限でしょうか？	eMANAGE デフォルト 10GBで、有償版eMANAGEの1ライセンスごとに10GBずつ加算（制限なし）できます。 eVIEWは、ビューワーのため、制限なし
今画面で組織用のストレージ 160GBと表示があるのでそちらが上限でしょうか？	160GBが上限ではございません。 表示の160GBは弊社組織アカウント状況を示しておりました(初期 1 0 GB + 有償 eMangae15本分) 。 CLOUD全体での容量制限はありません。
eSTOCKは無制限。eMANAGEはデフォルト80GB 1ライセンス拡張10GBと理解しました。	eSTOCK MAX 100GB、 eMANAGE デフォルト 10GB、有償で10GBずつ増加可能です。
Cloudに容量制限はありますか？	EPLAN Cloud全体での容量制限はありません。
最初に再生したestockの使い方の動画はどこにあるのでしょうか。	アーカイブサイトにアップします。